

試験問題

令和6年度 大学院 システム工学研究科 システム工学専攻
博士前期課程 入学選考 (2月期)

コース : 生物化学コース 科目名 [環境分析化学]

令和6年2月17日(土)実施

システム工学研究科では、入学試験の公平性の維持と効率化を目的として、あらかじめ問題を蓄積して活用し、複数回の入学試験を実施することがあるため、試験問題は公開していません。

解答または解答例

令和6年度 大学院 システム工学研究科 システム工学専攻
博士前期課程 入学選考 (2月期)

コース : 生物化学コース 科目名 [環境分析化学]

令和6年2月17日(土)実施

システム工学研究科では、入学試験の公平性の維持と効率化を目的として、あらかじめ問題を蓄積して活用し、複数回の入学試験を実施することがあるため、解答または解答例を公開していません。

出題の意図

令和6年度 大学院 システム工学研究科 システム工学専攻
博士前期課程 入学選考 (2月期)

コース：生物化学コース 科目名 [環境分析化学]

令和6年2月17日(土)実施

大問1は、元素分析機器として多く利用されている誘導結合プラズマ発光分光分析装置において、この装置による元素分析の原理について問うている。

大問2は、吸光分析に関わる基礎知識を有していること、および加成性が成立する混合溶液のデータの解析について問うている。

大問3は、分析機器として使用頻度の高い高速液体クロマトグラフについて、装置を構成している検出部、分離部、送液部の概略、および装置を利用した定量分析手法について問うている。